

2021年4月25日

九州学生ハンドボール連盟加盟大学 各位

九州学生ハンドボール連盟

会長 池田 修

2021年度九州学生ハンドボール春季リーグ戦<中止>のお知らせ

2020年1月に日本で初めて新型コロナウイルス感染者が発生し、その後、3月から5月にかけていわゆる感染拡大第1波が発生し、政府や各自治体から緊急事態宣言や自粛要請が発出され、これにより国内の各地区学生ハンドボール連盟は春季リーグ戦開催中止を決定するとともに、全日本学生ハンドボール連盟も東日本学生ハンドボール選手権大会と西日本学生ハンドボール選手権大会の開催中止を決定いたしました。さらに、7月に入り、主要都市を中心に再び感染は急速に拡大し、人口集中の大都市圏だけでなく、全国の地方都市においても感染者数の明らかな増加傾向がみられたことから、11月の全日本学生ハンドボール選手権大会も中止が決定されました。

このようなことから、九州学生ハンドボール連盟（以下、九州学連）は昨年度において代替大会等も含め、主催大会を全く開催することができず、2020年度の九州学連加盟チーム並びに各大学登録選手には大変申し訳なく反省をしております。そのため本年度2021年度の加盟チーム学生の皆さんに対して、何としてでも公式大会を開催することが私ども九州学連役員の使命であるとの思いで、昨年度より新型コロナ禍状況での開催の可能性について、以下の1~4に示す内容について鋭意検討を重ねて参りました。

1. 2021年3月14日：本年2月～3月の国内並びに九州地区の新型コロナウイルス感染拡大状況を踏まえて、何とか開催する方策として、30回の歴史を数える春季リーグをトーナメント試合方式に変更する方針を決定。
2. 2021年3月25日：1年ぶりの大会出場を願う加盟大学にその出場意思の確認。出場意思確認時点で男子20大学・女子9大学が参加予定。

3. 2021年4月1日：試合方式を各部によるトーナメント方式に変更し開催することを改めて決定し、参加申込受付開始。
4. 2021年4月20日：大学からの出場許可が下りない等の理由により参加大学は男子12大学・女子8大学に減少。この状況でも大会参加を渴望する選手達のために、春季リーグ開催を決定し、大会最終準備を開始。

しかしながら、4月21日から3日連続で福岡県新型コロナウイルス新感染者が200人超となり、また出場辞退大学が新たに2校増え、さらに全国的には大都市圏の4都府県に4月25日から5月11日にかけて緊急事態宣言が政府から追加発出されました。そのため開幕中の関東学連春季リーグは大会途中で延期決定、関西学連は無期延期、東海学連も開幕直前に試合方法変更、中四国学連は出場チームが男女4チームのみとなり大会開催を断念する状況です。

以上、ここ数日の新型コロナウイルス感染状況の拡大に伴う社会状況の大きな変化を受けて、4月24日に九州学連役員会を緊急に開催し、福岡県での急激な新型コロナ感染拡大状況、参加辞退校が極めて多数となったこと、何より学生の皆様ひとり一人の健康と安全を第一と考え、断腸の思いながら春季リーグ<中止>の判断を下しました。忸怩たる思いの連盟役員、それ以上に悔しい思いをしている学生の皆さんには本当に申し訳なく思います。開幕前の急遽の決定になったことに対して
も心よりお詫び申し上げます。

新型コロナ感染拡大を押しえ込むにはゴールデンウィークの過ごし方が大きなカギとなります。不要不急の外出を極力避け、ご自身の安全・安心にくれぐれもご注意ください。学生生活を過ごされますことを、心よりお願い申し上げます。

以上